

令和4年度学校評価報告書

令和5年3月31日

北海道教育委員会教育長 様

北海道室蘭清水丘高等学校長

次のとおり令和5年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

(1) 礼節を重んじ、豊かな情操を育む
(2) 意欲的な取組を重んじ、主体性を育む
(3) 健全な心身を重んじ、強い忍耐力を育む

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
家庭・地域との連携	(1) こども食堂や雪かきボランティア等地域のボランティア活動に積極的に取り組んでいる (2) 学校HPや一斉メール配信等を活用し、学校の日常を積極的に発信した。 (3) 新型コロナウイルス感染対策を講じながら、各種学校行事への保護者等参加を拡大した。	(1) 新型コロナウイルスの影響で地域との連携も難しかったかと思う。今後は、学校HP等で今まで以上に多く発信することが必要である。 (2) ポストコロナに向け、学校行事等で新たな取組が進められるよう期待している。 (3) ボランティア等の地域と連携した活動を充実させることを期待する。
改善方策	(1) 各種ボランティア活動の拡大、充実を図る。 (2) ポストコロナに向け、PTA活動の充実の在り方を検討。	
学習指導	(1) ICTを活用した授業改善が図られるよう、計画的な校内研修等が必要である (2) 実力テストの実施について検討する必要がある。	(1) 授業のIT化をより一層推進していただくことを期待する。 (2) 一斉の講習だけではなく、生徒に応じて課題や参考書、サイトなどを紹介することも必要である。
改善方策	(1) 生徒一人ひとりの学習状況や進路志望を的確に把握し、学習意欲を喚起するよう、指導方法の改善に努める。 (2) 全教職員がICTの活用スキルを高め、授業改善を図る。	
生徒指導	(1) 社会的なルールやマナーは、学年間での差を小さくしていることが必要である。 (2) LGBTQと社会情勢の変化に配慮した生徒心得の改訂を進めている。	(1) 18歳成人となっている状況から、生徒心得は学校側だけではなく、生徒や保護者、地域とも連携した取組とすることが入試倍率にも係ってくるのではないかと。 (2) スマートフォンの使用規制に対して検討していく必要がある。
改善方策	(1) いじめ指導に係る未然防止の取組や対応については、あらゆる場面を通して周知に努めていく。 (2) 18歳成人に相応しい生徒心得となるよう、生徒や保護者、地域と連携して進めていくよう努める。	

進路指導	(1) インターンシップの拡大・充実。 (2) 長期休業中および平日講習の在り方を検討。	(1) ほとんどが進学であるが、就職者へのサポートももう少し手厚くする必要がある。 (2) 進学講習の質の向上が必要である。
改善方策	(1) 講習の質を向上させるため、各教科における効果的な取組の検討。 (2) 保護者向け大学進学説明会や保護者面談会だけでは十分に理解できない保護者等が一定数いることから、三者面談の在り方を検討。	

公表方法	学校HP 学校評議員会 P T A役員会
------	----------------------

3 添付資料